



## 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月31日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 医学生物学研究所  
コード番号 4557 URL http://www.mbl.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 公政  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 中井 邦彦 TEL 052-238-1901  
四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,884	10.3	123	969.6	168	—	162	6,122.8
30年3月期第1四半期	1,709	△14.6	11	81.6	△3	—	2	△98.3

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 151百万円 (—%) 30年3月期第1四半期 △5百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	31.46	—
30年3月期第1四半期	0.51	—

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	9,769	7,074	72.4	1,368.17
30年3月期	9,922	6,926	69.8	1,339.51

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 7,074百万円 30年3月期 6,926百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600	7.5	230	90.2	170	1,332.5	150	—	29.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	5,211,800株	30年3月期	5,211,800株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	40,953株	30年3月期	40,953株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	5,170,847株	30年3月期1Q	5,170,842株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)のわが国経済は、景気の緩やかな回復傾向が続いているものの、継続的な人手不足による景気の腰折れリスクや災害の影響、米国の保護主義政策による世界的な景気減速懸念などから、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

こうした中、当第1四半期連結累計期間は、売上高18億84百万円(前年同四半期比10.3%増)、営業利益1億23百万円(前年同四半期比10.7倍)、経常利益1億68百万円(前年同四半期は経常損失3百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億62百万円(前年同四半期比62.2倍)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### (ア) 試薬事業

臨床検査薬分野は、引き続き競合等により厳しい市場環境ではあるものの、主力の自己免疫疾患検査試薬、がん関連検査試薬ならびに婦人科関連検査試薬の売上が伸長したことから、当分野全体の売上高は前年同四半期を上回りました。

基礎研究用試薬分野は、国内アカデミアの試薬購買力が沈滞化している影響などにより、当分野全体の売上高は前年同四半期を下回りました。

IVD原料・IVD中間体分野は、中国市場におけるIVD原料の拡販活動により売上が伸長したことに加え、当期より中国子会社が現地IVDメーカー向けのIVD中間体の商業生産を開始したことから、当分野全体の売上高は前年同四半期を大きく上回りました。

これらの結果、試薬事業全体の当第1四半期連結累計期間の売上高は18億69百万円(前年同四半期比10.4%増)となり、セグメント利益は1億21百万円(前年同四半期比14.6倍)となりました。

#### (イ) 投資事業

投資事業においては、ファンドの管理収入により、当第1四半期連結累計期間の売上高は15百万円(前年同四半期と同額)、セグメント利益は2百万円(前年同四半期比20.2%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (ア) 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は97億69百万円となり、前連結会計年度末に比較して1億53百万円減少しました。

- ・流動資産：当第1四半期連結会計期間末で55億62百万円となり、前連結会計年度末より7百万円増加しました。
- ・固定資産：当第1四半期連結会計期間末で42億6百万円となり、前連結会計年度末より1億61百万円減少しました。
  - 1) 有形固定資産は25億56百万円となり、前連結会計年度末より1億60百万円減少しました。  
これは主に、建設仮勘定が1億51百万円減少したためです。
  - 2) 無形固定資産は2億45百万円となり、前連結会計年度末より1億22百万円増加しました。  
これは主に、その他に含まれるソフトウェアが1億22百万円増加したためです。
  - 3) 投資その他の資産は14億3百万円となり、前連結会計年度末より1億23百万円減少しました。  
これは主に、その他に含まれる出資金が1億30百万円減少したためです。

(イ) 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債の額は26億94百万円となり、前連結会計年度末に比較して3億1百万円減少しました。

- ・流動負債：当第1四半期連結会計期間末で18億96百万円となり、前連結会計年度末より1億72百万円減少しました。

これは主に、その他に含まれる未払金が2億31百万円減少したためです。

- ・固定負債：当第1四半期連結会計期間末で7億98百万円となり、前連結会計年度末より1億29百万円減少しました。

これは主に、長期借入金が1億24百万円減少したためです。

(ウ) 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は70億74百万円となり、前連結会計年度末に比較して1億48百万円増加しました。

自己資本比率は72.4%（前連結会計年度末は69.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年4月24日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,823,978	1,722,968
受取手形及び売掛金	1,728,070	1,826,406
商品及び製品	922,915	937,640
仕掛品	562,600	537,878
原材料及び貯蔵品	441,792	454,199
その他	94,433	87,488
貸倒引当金	△18,416	△3,665
流動資産合計	5,555,373	5,562,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,705,399	1,679,485
機械装置及び運搬具(純額)	37,133	34,678
土地	96,086	96,086
リース資産(純額)	55,151	50,925
建設仮勘定	451,867	300,439
その他(純額)	371,538	394,965
有形固定資産合計	2,717,176	2,556,581
無形固定資産		
のれん	518	423
その他	122,713	245,538
無形固定資産合計	123,231	245,961
投資その他の資産		
投資有価証券	116,595	107,088
長期貸付金	96,345	64,193
関係会社長期貸付金	951,490	983,664
長期前払費用	151,733	137,692
その他	553,492	387,799
貸倒引当金	△342,521	△276,463
投資その他の資産合計	1,527,136	1,403,975
固定資産合計	4,367,545	4,206,518
資産合計	9,922,918	9,769,434

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	278,794	312,492
短期借入金	994,996	954,996
未払法人税等	52,037	31,053
その他	742,862	597,682
流動負債合計	2,068,689	1,896,224
固定負債		
長期借入金	856,531	731,532
繰延税金負債	5,022	4,722
その他	66,294	62,342
固定負債合計	927,848	798,596
負債合計	2,996,538	2,694,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,482,936	4,482,936
資本剰余金	4,198,605	4,198,605
利益剰余金	△1,757,711	△1,597,849
自己株式	△43,788	△43,788
株主資本合計	6,880,041	7,039,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,927	21,223
為替換算調整勘定	24,412	13,486
その他の包括利益累計額合計	46,339	34,710
非支配株主持分	0	0
純資産合計	6,926,380	7,074,613
負債純資産合計	9,922,918	9,769,434

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,709,180	1,884,956
売上原価	718,765	846,441
売上総利益	990,415	1,038,515
販売費及び一般管理費	978,825	914,558
営業利益	11,589	123,956
営業外収益		
受取利息	5,003	4,164
為替差益	—	45,487
その他	4,595	7,219
営業外収益合計	9,598	56,871
営業外費用		
支払利息	4,410	3,227
持分法による投資損失	17,233	7,690
為替差損	2,716	—
その他	94	1,538
営業外費用合計	24,454	12,455
経常利益又は経常損失(△)	△3,266	168,372
特別利益		
国庫補助金	9,351	—
投資有価証券売却益	999	—
貸倒引当金戻入額	—	9,884
関係会社清算益	—	2,836
特別利益合計	10,351	12,721
特別損失		
固定資産除却損	84	704
特別損失合計	84	704
税金等調整前四半期純利益	6,999	180,389
法人税、住民税及び事業税	4,384	17,691
法人税等合計	4,384	17,691
四半期純利益	2,614	162,698
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,614	162,698

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	2,614	162,698
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△999	△703
為替換算調整勘定	△7,101	△10,500
持分法適用会社に対する持分相当額	△84	△425
その他の包括利益合計	△8,185	△11,628
四半期包括利益	△5,571	151,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,571	151,069
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 ※
	試薬事業	投資事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,694,180	15,000	1,709,180	—	1,709,180
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,694,180	15,000	1,709,180	—	1,709,180
セグメント利益	8,338	3,250	11,589	—	11,589

※ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 ※
	試薬事業	投資事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,869,956	15,000	1,884,956	—	1,884,956
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,869,956	15,000	1,884,956	—	1,884,956
セグメント利益	121,361	2,595	123,956	—	123,956

※ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。